

会議結果

会 議 名	第 10 回西尾市行財政改革推進委員会
日 時	令和 3 年 12 月 2 日（木） 午前 9 時 30 分～午前 11 時 15 分
場 所	西尾市役所 22 会議室（2 階）
出 席 者	委員…槇野委員、三浦委員、小島委員、尾崎委員、杉浦委員、中根委員 欠席：久世委員、石崎委員 事務局（企画政策課）…藤井課長、鈴木課長補佐、宮嶋主任主査、三浦主事
鈴木課長補佐が会議を進行。 会の成立を報告。 会議の概要は次のとおり。 1 協議事項 行革案について 槇野委員長が進行。 ア 歳出削減部会「公共施設照明器具 L E D 化計画」（修正） 部会代表者が説明。 以下質疑応答 委員：リースと買い取りの比較について、差額が大きいが現実的ではないのではないか。 部会：リースは自社製品使用。工事は施工業者がメーカーから仕入れて施工するため差が出る。リースは既に製品に対する値引きがされている。 委員：間違いなければよい。世間の常識からするとかけ離れた数字だと思うが。 委員：公共への見積もりは定価で出す。公共単価は高額である。 委員：買取が多少安価になったとしても、効果額はリース料から算出するため変わらない。 委員：経験からすると 10 年で投資額が回収できる。電気料の積算はどこが行ったか。 部会：業者が行った。 委員：リースと買い取りの差は疑問。3 度目なのでこういうものなのかなという感じ。 部会：買取額が高額になる理由として、公共の設計ルールがあるため。諸経費が高額である。リースであればランプ交換で対応できるが工事だと機器ごと交換しないといけないというところがある。そういった条件の違いがある。 委員：市の発注方法にメスを入れる必要があると感じた。リースと工事のルールの違いは整合性を取っていく必要がある。研究していただきたい。諸経費は民間でも計上することがあるが、個別原価を検証していくことでもっと精査できる。検討課題としていただきたい。 委員：国、県で決まっているところが大半。日本全国の課題と感じた。 委員：学校等もやっていくということをテーマとして入れて置いてほしい。 部会：環境保全課で既に他の施設も計画している。効果が出ないものをあげていないだけである。 第 6 次実行計画について 宮嶋主任主査から説明。	

実行計画素案を提示し説明。意見などがあれば連絡いただくよう依頼。

●第12号について

委員：まずやってみるということで理解した。

委員：どこのシステムを使用する予定かイメージはあるか。

事務：Zoom か teams のイメージ。

委員：委員の方もよく活用していると思う。意見をいただいたらどうか。

委員：簡単な打合せは teams、zoom で行っている。お客様に対しては個人情報があるため、社内イントラを活用した仕組みを構築しているが、費用の桁が違う。

委員：県はウェベックスを活用している。目的に沿った運用をすればよい。とりあえず取り掛かってみるということは賛成。

委員：働き方改革の計画としてあげるために、最初の目的を忘れないこと。支所の数、職員数を減らさず住民サービスの向上と職員の休暇取得向上というところをぶれないように。効果額が算出されていない。例として R4 検証・実証実験、R5 は1支所に設置など目的にあった進め方を考えてほしい。

事務：検討する。

委員：市役所では利用していないのか。

事務：内部会議ではあまり使っていない。外部の環境が整備されていない。

委員：市民に使っていただくにはハードルが高い。内部であれば計画にあげるほどかと感じる。

事務：もともとは大規模なシステムでの計画だったが縮小した。

委員：目的に沿った進め方をしないとそうになってしまう。

●第13号について

委員：データの保存方法が統一されていないということがある。ルールの徹底で効率化が図られる。実施方法はわからないが、活用しやすいような方法を検討してほしい。

委員：対象の定義、優先順位をはっきりさせないと混乱してしまう。必ず整備しないといけないものと、メモ的なものを定義する。文書の更新時期、保管期間のルールが管理の要点。作成、更新時期を明確にさせる。

事務：一般文書はルール化されている。文書管理システムも導入が予定されている。

●第15号について

委員：取得できない要因の分析をしっかりと取り組むような記載にしていきたい。

委員：第三者が見ると伝わらない。月間・年間有給休暇計画の見える化を徹底すること、スケジュール・業務の調整を徹底することを記載すべき。計画策定、見える化しそれをどう乗り越えるかという流れが伝わりやすいと考える。

●全体について

委員：各計画の実施時期が令和4年度と令和4年度～という表現がある。

事務：令和4年度完了は令和4年度。着手開始の場合は令和4年度～とした。

委員：令和4年度～となっている計画について、具体的にそれ以降の道筋を示してほしい。ふるさと納税を例にすると、いつから広告を出すのか等計画が必要。

公共施設使用料の適正化についてもいつまでに実施するのか、完了はいつかということが必要。進捗を見るためにも実施時期に記載してほしい。第10号のスケジュールを参考に。

事務：別添として事務局の希望としてスケジュールを記載することを整理して提示した

い。

委員：スケジュールが見える形で必要。ここに入れろということではない。

事務：主要な項目で作成してみたい。

委員：いろいろ意見を言ったがよくまとめていただいた。問題は実行できるかになる。

2 その他

次回の日程を確認。

以上、午前 11 時 15 分終了